

3 - 8. エネルギー消費分析

(データ出所：資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」)

- 企業・事業所部門、家庭部門および運輸部門について、都道府県別・エネルギー資源別にエネルギー消費量を把握できる。
- これにより、都道府県における温室効果ガス対策の実行計画等の作成や、どのエネルギー資源に依存しているか、またその資源価格が上昇した際の対応策の検討に活用できる。

2019年

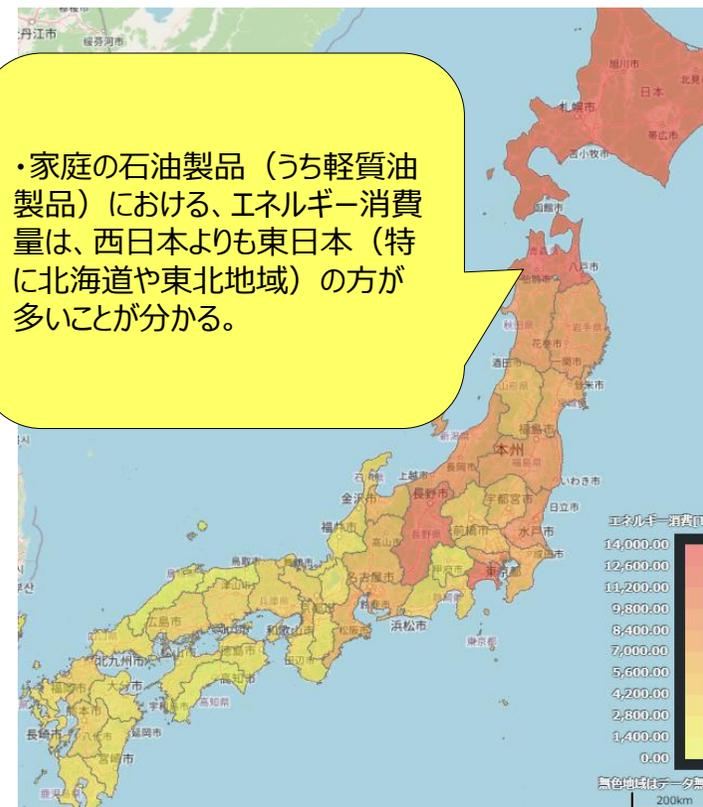
需要部門：運輸＞旅客＞乗用車

エネルギー資源：石油製品（うち軽質油製品）

2019年

需要部門：家庭

エネルギー資源：石油製品（うち軽質油製品）



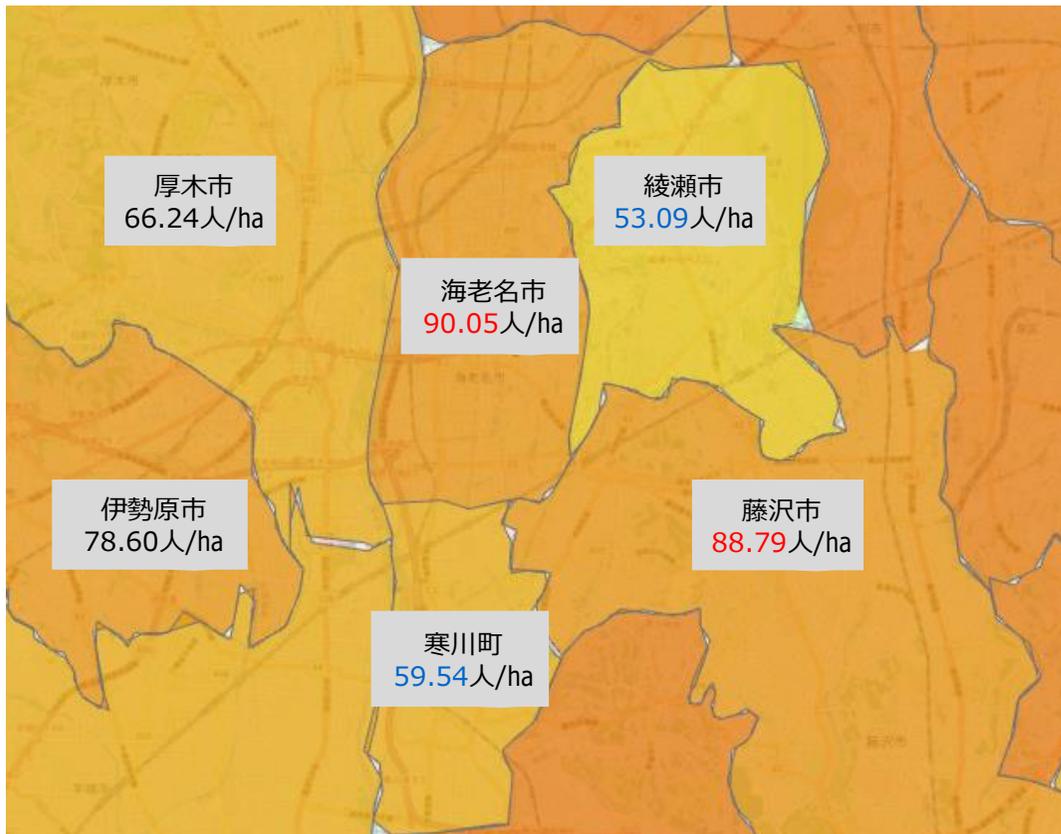
※軽質油製品は、ナフサ、ガソリン、ジェット燃料油、灯油、軽油が含まれる。

7-11. 都市構造の分析（人口動向）

（データ出所：国土交通省「都市計画現況調査」、総務省「国勢調査」）

- 市区町村別に人口集中地区や市街化区域の人口や人口密度を表示することができるため、現状の都市構造（コンパクトさ）を人口の観点から把握することができる。
- これにより、都市部の人口密度を高めるための施策の検討（郊外から都市部への移住者に補助金を支給する等）に活用したり、都市構造の評価、都市計画を見直す際の検討に活用することができる。

人口集中地区における1ha当たりの総人口（2020年）
神奈川県海老名市の周辺エリア



【都市を維持するにはコンパクトなまちづくりが必要】

人は学校や職場に通いやすい、駅や医療、商業施設が近くにあり生活がしやすい等、立地の良い場所に集まりやすい。

生活に必要な施設がまとまって立地していないことが原因で、人口密度が低い地域では、生活がしやすい地域へ人口が流出することが考えられる。

人口が流出することで、医療、福祉、商業、公共交通等の利用者が減少し、従来通りのサービスの維持が困難となり、より不便になる。

不便になることで人口流出が加速し、都市を維持することが困難となる。

<都市を維持するために>

医療、商業施設等の生活に必要な施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が生活のしやすいコンパクトなまちづくりが必要。